

NEW EDUCATION AND TRADITION



スローガン：つなく伝統 築こう未来

発行日：令和8年4月10日(金)

発行者：校長 吉岡 大司

新年度を迎えて

校長 吉岡 大司

本校4年目となりました学校長の吉岡大司です。

校庭の桜は、散らずに、新年度のこの日を待ち、正門わきのチューリップも満開となって、新入生の入学と在校生の進級を祝ってくれているようです。

さて、新入生の皆さんにとって、期待と緊張が入り交じる毎日が、続くことと思いますがこれからは自分らしく学校生活を楽しみ、どんな花にも負けない大きな成長の花を咲かせてくれると信じています。そして、多くの仲間、ご家族、地域の方々に支えられていることを感じながら、安心して挑戦し続ける3年間を過ごしてください。

新2年生や新3年生の皆さんは、これまでの1年を振り返りつつ、それぞれが自分のペースで「成長の物語」を積み重ねていく学年となりました。最上級生となる3年生は、本校の「顔」として、学習や行事、生徒会、部活動などあらゆる場面での活躍を期待しています。また2年生は、中堅学年として、人との関わりを深めながら大きく伸びていく一年になることを楽しみにしています。

今年度、本校は、全校生徒501人で新たなスタートをし、文武両道の精神のもと、本校の教育目標である「確かな知性」「豊かな感性」「健全な心身」の具現化に向け、生徒一人ひとりの心に寄り添い、安全・安心な居場所となる学校づくりを進めてまいります。

始業式では、次の3つのことを生徒に伝えました。「一会一生(いちえいっしょう)」という言葉の通り、出会いは一生の宝であり、だからこそ今の仲間との関係を大切にしてほしいこと。新しい人間関係を築く第一歩は、笑顔とあいさつであり、自分から行動できる人になってほしいこと。そして、勉強や部活動において努力を続けることの大切さです。「継続は力なり」を胸に刻み、自分の可能性を信じて、「有言実行」の生徒になってほしいとも伝えました。

また、入学式では、中学校生活では、教科ごとに教員が変わり、部活動や生徒会活動、学校行事など多くの挑戦の場があること。その一つひとつに、自分から進んで関わってほしいことを話しました。そして、自分の未来を見つけるためには、「小さな目標」を立て、毎日実行することの大切さを伝えました。

保護者の皆様には、ぜひ、今年は、お子様への声掛けを大切にしていきたいと願っています。NECレッドロケッツのコンディショニングアドバイザーであり、日本ペップ・トーク普及協会代表理事の岩崎由純氏は、「人は、聞いて・理解して・イメージする。存在であり、前向きな言葉は前向きな行動を生む」と述べています。中学生になると、定期テストや部活動の大会など、結果が目に見える場面が増えていきます。結果が出ると一喜一憂しがちですが、大切なのは結果だけでなく、そこに至るまでの過程です。日頃の努力や取組に目を向け、「次にどう生かすか」を一緒に考える声掛けが、子どもたちの意欲を支えます。また、「なりたい自分」について親子で語り合うことは、学校生活に目標と張りをもたらしめます。人と比べるのではなく、自分自身の未来を前向きに思い描けるよう、温かい言葉で見守っていただければと思います。

令和8年度も、学校や家庭、地域が一体となり、「生徒一人ひとりの夢の実現に向けて考え、行動する生徒の育成」を目指し、全力で教育活動に取り組んでまいります。本年度も、本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。